

保育及び子育て支援に関する調査研究報告書 -平成 16 年度-

●序●

本報告書は、独立行政法人福祉医療機構（子育て支援基金）の助成事業として、日本保育協会が平成 16 年度に実施した「保育及び子育て支援に関する調査研究」の結果をまとめたものです。

少子・高齢化時代を迎えて、子育て支援の主要な柱である保育所保育及び地域の子育て支援活動に社会的な期待が高まっています。

この調査研究は、保育所が実施している保育と子育て支援事業の実態を調査し、保育サービスの充実と向上に資することを目的として実施したものです。

本報告書を、保育所保育や地域の子育て支援を考える上で参考としていただければ幸甚に存じます。

この調査研究の実施に当たりましては、荻須隆雄先生（埼玉県立大学）、須永進先生（藤女子大学）、堀田芳子先生（東京教育専門学校）、中村美喜子先生（若葉保育園）、細川玲子先生（新通保育園）、渋谷一美先生（堀兼みつばさ保育園）の研究スタッフにご指導いただいたこと、また調査対象保育所の方々にご協力いただいたことに対し、心から深く感謝の意を表する次第であります。

平成 17 年 3 月

社会福祉法人 日本保育協会
理事長 佐々木 典 夫